

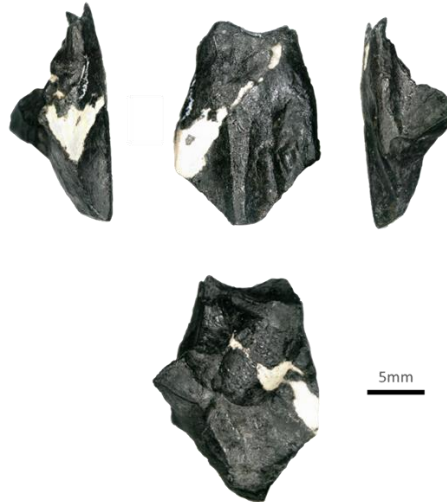
令和3年3月常設展示の更新について

① 福井県大野市の伊月層（前期白亜紀）の脊椎動物化石の展示（期間限定）

常設展示室1F「手取層群の恐竜」コーナーに福井県大野市の手取層群伊月層より産出した「日本最古級の哺乳類化石」である真三錐歯類(哺乳類)の左下顎の一部、トリティロドン類(哺乳類型爬虫類)の右下顎歯および新たに発見されたイグアノドン類(恐竜類)の右上顎骨歯を3月20日(土)から4月18日(日)までの期間限定で初公開します。



左:真三錐歯類(哺乳類)の化石;右:トリティロドン類の化石



イグアノドン類(鳥脚類恐竜)の右上顎骨歯(合成)。上段左:前方側(鼻先側)、上段中:頬側(外側)、上段右:後方、下段:舌側(内側)から見たもの。

② 角竜類アルバータケラトプスの学名変更・一部改修

常設展示室1F「恐竜の世界」ゾーンで展示されていた角竜類アルバータケラトプス・ネスモイの実物を含む全身骨格につきまして、化石標本の再研究の結果、メドゥーサケラトプス・ロキイ(*Medusaceratops lokii*)という別種の角竜類に属することが判明しました。それに伴って、より正確な姿で展示するべく、この全身骨格の一部を改修しました。



③ 恐竜の研究・発掘史の追加

常設展示室1Fの「恐竜の研究・発掘史」を更新し、これまでのものに加えて、新たに恐竜博物館が開館した2000年から2020年までの年表を追加しました。追加部分では、化石から生前の色がわかったことなどの恐竜の復元に大きな影響を与えた研究や、国内における新種報告を中心に、この20年間の注目トピックスをご紹介します。近年の研究の大きな進展を実感いただける内容となっています。

